

創刊号

Kendai [秋田県立大学広報誌]

# イスタ

Akita Prefectural University



\*01  
FILE.

熊谷誠治

\*02  
FILE.

藤田直子

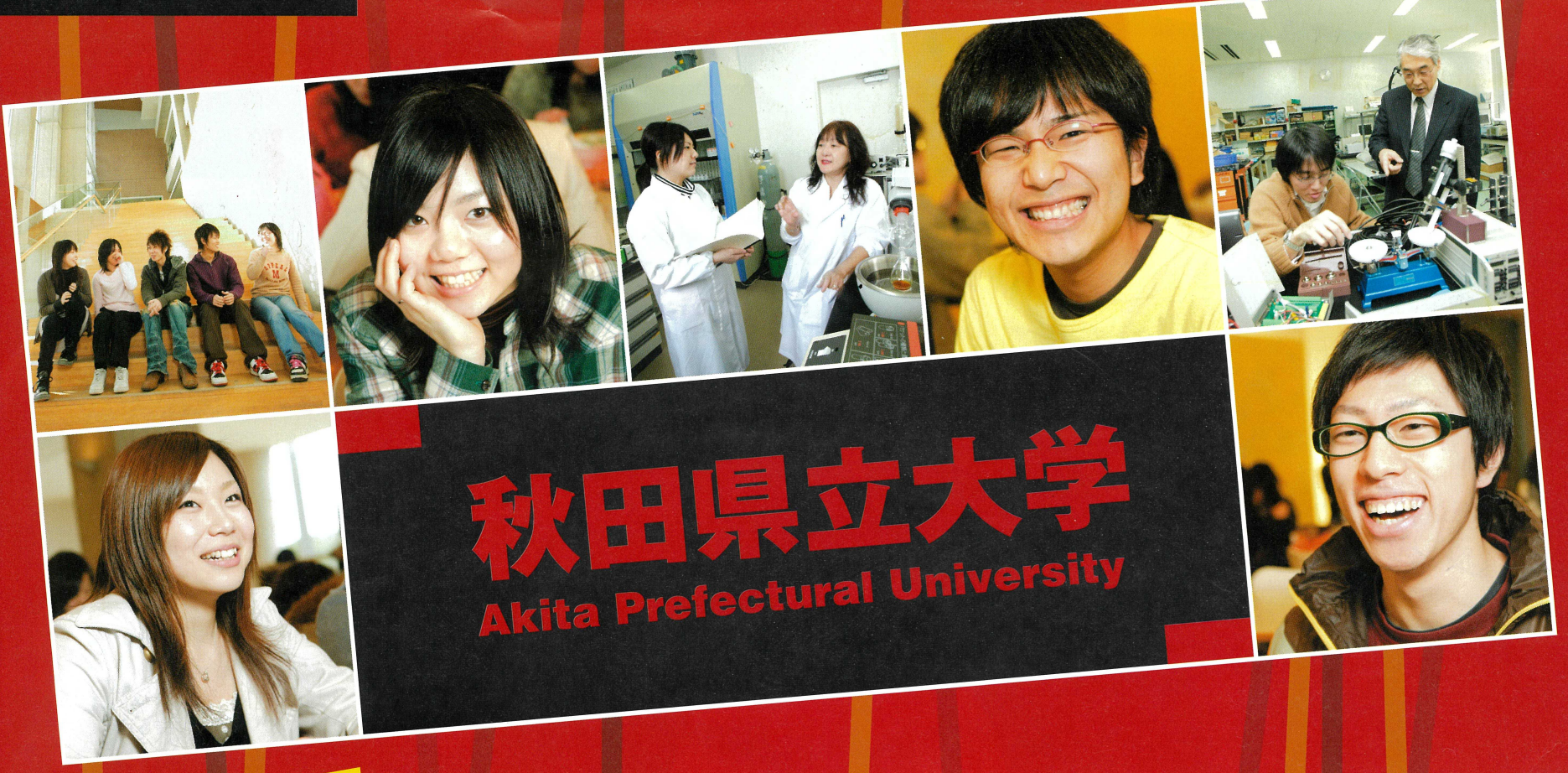
研究者紹介  
ISUNA-INTERVIEW.  
03-04

ニュース&トピックス 01-02

学生スタイル [卒業生・修了生  
インタビュー] 05-06

進路情報 07

生涯学生制度について 07



# 秋田県立大学

## Akita Prefectural University

### 全キャンパス共通

#### 公開講演会開催

ノーベル賞受賞者  
小柴昌俊先生 講演「やれば、できる」

ノーベル物理学賞を受賞した東京大学特別名誉教授小柴昌俊先生による公開講演会を9月16日に実施しました。演題は「やれば、できる」とし、小柴先生は「本気でやりたいことを見つけることが大事」と述べ、高校生400名、一般600名と多くの方が聞き入っていました。講演では中学生のときにかかったポリオ（小児まひ）との闘いの話から、カミオカンデ（ニュートリノの観測装置）、平成基礎科学財団についての紹介も行われました。

質疑応答による会場からの「夢はあるか」との質問には「夢はある。小さな実験を続けているが内容は秘密」と笑顔で答えていました。



#### 秋田竿燈まつりで 竿燈会が活躍

学生表彰を受賞

8月に開催された秋田竿燈まつりに大学のサークルの一つである秋田県立大学竿燈会から60名以上が参加しました。また、数千人の観客が見守る中で行われた第60回竿燈妙技会では「大若団体規定4位」「大若団体自由5位」と健闘、その技術を高く評価されました。そこで、団体表彰としては初めてですが、大学は今年度9月に竿燈会の学生表彰を行いました。



#### 秋田銀行と 連携協力協定を締結

地域社会への貢献を



本学と秋田銀行は相互の連携を強化し、両者共通の理念である地域社会への貢献を実現するため、12月27日に連携協力協定を締結しました。目的は大学、銀行がそれぞれ保有する知的・人的資源等を、相互に提供し組み合わせることによって、地域経済の活性化と社会の発展に貢献することにあります。また、企業からの技術的な相談を秋田銀行が取次ぎ、対応を依頼する（銀行内での活動名：あきぎん技術相談「リサーチ・ラボ」）研究機関として、新たに加わることになる「技術相談取次ぎ・対応に関する覚書」も同時に調印いたしました。

#### 特待生表彰式開催

「21世紀を担う次代の人材育成」のために



平成18年度特待生を決定し、12月に特待生の授与式を開催しました。特待生制度は本学の基本理念である「21世紀を担う次代の人材育成」に基づき、優秀な学業成績により他の学生の模範となる者を表彰することで、本学学生の学習意欲の一層の向上を図ることを目的としています。また、特待生の特典内容は表彰状の授与・年間授業料相当額の奨学金の支給となり、平成18年度の特待生については、年間授業料の後期分（267,900円）となります。

#### 公立大学法人への移行について

秋田県立大学は平成18年4月より公立大学法人として、新しい一歩を踏み出しました。法人化の趣旨は、昨今変わって速い社会の変化に大学が柔軟で機動的な対応を、自主的にできるようにするためのものです。これによって大学は大きな自由を手にすると同時に、大きな責任を負うことになります。これからは、「特待生制度の導入」「生涯学生制度の導入」「産学官連携の推進」等、公立大学法人として多くの取り組みを実施していきます。

### 3つのキャンパスで大学祭開催

それぞれのキャンパスで  
独自のイベントを開催!!

今年度も本荘キャンパスでは潮風祭、秋田キャンパスでは松風祭、大潟キャンパスでは秋輝祭として大学祭を10月に開催しました。それぞれのキャンパスでは独自イベントの開催、模擬店の出店など、在学生以外にも多くの方に楽しんでもらえる大学祭となりました。また、大潟キャンパスで開催された秋輝祭は短期大学部として実施する最後の大学祭となりました。



**本荘キャンパス**  
毎年恒例の「なまはげ太鼓」「アームレスリング大会」などのイベント開催や「おでん」「パスタ」などの多くの模擬店が出店されました。



**秋田キャンパス**  
人気企画の「裏 Mr. & Miss コンテスト」や「野菜販売」「焼鳥」などの模擬店の出店がありました。また、2日目の夜は大学祭フィナーレを飾る「県大花火」もありました。



**大潟キャンパス**  
収穫祭を兼ねた大学祭が盛大に行われました。今年も短大名物の牛の丸焼きや農産物販売では大勢の家族連れでにぎわいをみせました。

# NEWS & TOPICS

本荘キャンパス

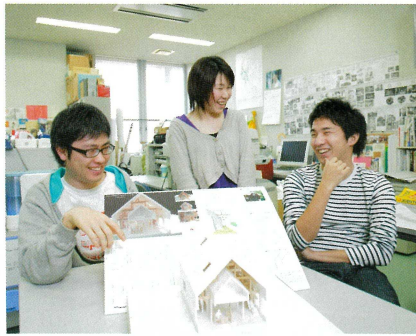
Honjo Campus

## 設計コンペで本学学生が最優秀賞受賞

タイトル:DOUBLE

「第1回山形の家づくり大賞コンペ」において、大学院博士前期課程1年生の岡田昌彦さん、佐藤亜紗美さん、田中宏幸さん（建築計画学講座）による設計作品が、最優秀賞を受賞しました。

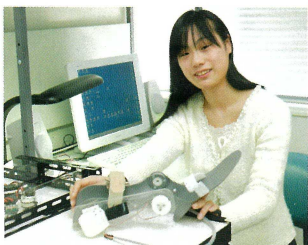
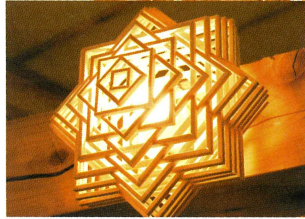
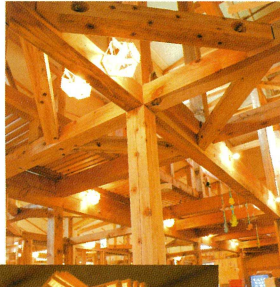
「雪」をテーマに山形の気候・風土を活かし、家族のふれあい、人間性を育む住まいづくりの「企画設計提案部門」において、空気の流れを作った構造が評価されました。



## 学生が作った照明が新築保育園に設置される

秋田建築学生集団「ちくわ(築輪)」

「ちくわ(築輪)」は、建築環境システム学科の学生の有志が集まって『自分達でテーマを定め、問題解決に向けて社会に対して活動する』をコンセプトに、県内の優れた建築の調査、研究活動を続けています。今年度は本荘保育園の新築工事に参加し、設計事務所アトリエ・モビルの協力を得て、照明のデザインから制作までを手がけました。本荘の伝統的民芸品の「ごてんまり」をモチーフにした照明を50個以上作り設置することができました。



## (財)本荘由利産業科学振興財団から研究助成

(財)本荘由利産業科学振興財団では、本荘由利地域における科学技術の教育及び研究の振興と地域の発展に寄与すると認められる研究活動に助成金を交付しています。今年度、本学は教員の「調査研究」5件、学生の「ベンチャー自主研究」6件、「国際交流」5件の計16件に総額420万円の助成を受けることが決まりました。国際交流助成事業部門で20万円の助成を受けたシステム科学技術研究科機械知能システム学専攻1年の佐藤里佳さんは、オーストラリアで開催された国際会議で空気圧バルーン型駆動システム開発の研究結果を発表しました。



## 長南征二教授 日本AEM学会功績賞受賞

2006年11月1日長南征二教授が、電磁と機械を融合した新しいセンサーや機械システムの開発による学術的貢献と日本AEM学会創立や国際会議の開催など学会の発展に貢献したことで、日本AEM学会功績賞を受賞しました。

現在は人の指に替えて点字を読み取るセンサーなど、医療用福祉機器の開発に取り組んでいます。

秋田キャンパス

Akita Campus

## 生物生産科学科で収穫祭開催

今年度も毎年恒例となっている生物生産科学科主催による収穫祭が秋田キャンパスで7月に開催されました。当日は学科の学生が焼きそば、焼きとうもろこし、スイカなど多くの料理を準備しました。夕方6時近くから、多くの学生、教職員が収穫祭へ参加、旬の野菜を使った料理を堪能しました。



## 平成18年度同窓会懇親会開催

今年度で創立8周年を迎え、生物資源科学部では同窓会会員の交流を深めるため、同窓会懇親会を9月に開催しました。本学は昨年度で4期生が卒業しましたが、毎年、ほとんどの学生が就職と進学を決定して卒業していきます。秋田市内で開催された懇親会当日は200名近い卒業生が集まりました。懐かしい顔ぶれに多くの卒業生が楽しい時間を過ごしました。

## 日本土壌肥料学会、日本きのこ学会が秋田キャンパスで開催

秋田キャンパスで今年度は2つの学会が開催され、研究者が全国より秋田へ集まりました。日本土壌肥料学会では「秋田の食と健康と土を考える」をテーマとして、秋田の食についての公開シンポジウムが開催されました。また、きのこ学会では研究発表以外にも多くのきのこが展示され参加者の目を楽しませていました。

## 中学生が松くい虫防除について学ぶ

地域貢献の一貫として、秋田北中学校の総合学習を秋田キャンパスで行いました。

「夕日の松原」を守る～松くい虫防除にむけた秋田方式の開発～と題して、松くい虫とその被害・防除について、講義と媒介昆虫の観察の他、大学周辺の被害木の観察・防除のための炭焼小屋の見学などのフィールドワークも行いました。当日は多くの報道機関からの取材があり、授業の様子は広く秋田県内に紹介されました。



大潟キャンパス

Ogata Campus

## 短期大学部が作った「あきたこまち」でおにぎり販売

短期大学部では2004年より卒業研究としてコメを栽培していますが、今年は能代市内の6農家と学生8名が協力して玄米6千キロを収穫しました。その短大生が作った有機肥料・減農薬の天日乾燥のコメ「あきたこまち」を使って、大手コンビニエンスストアが秋田県内の店舗で11月末から2週間限定でおにぎり販売しました。おにぎり1個180円と割高感がある設定で売れるかどうか不安もあったようですが、全量約2万2千個を完売しました。

## 短期大学部の再編について

秋田県立大学短期大学部は、県立農業短期大学として昭和48年に創立されて以来、一貫して農業経営者や農業技術者等の育成を目的に実践的教育を行ってきました。創立以来4半世紀にわたり、社会に送り出した3千7百余の卒業生が秋田県内はもとより全国各地で活躍しています。そのようななか、短期大学部は今年度で閉校となりますが、ここで行われてきた教育は、秋田県立大学生物資源科学部アグリビジネス学科へ引き継がれることとなりました。校舎・施設に関しても同様にアグリビジネス学科が引き続き使用していくこととなります。

# ISUNA-INTERVIEW.



**助教 熊谷 誠治** (クマガイ セイジ)

- 秋田県出身
- システム科学技術学部
- 機械知能システム学科/熱工学講座

**熊谷誠治 助教**  
NEDO研究助成事業に採択「初級活性炭による燃料油中難脱硫化物の吸着除去」で新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)平成18年第1回産業技術研究助成事業に採択され、4年間で約5千万円の助成が予定されています。

研究に欠かせない愛用品



**マスコット除電器**  
「静電気除去グッズ」帯電している状態で精密機械を扱うと正確な計測が出来ないので、特に冬場は手離せない。



**コーヒーカップ**  
「実験の合間の楽しみ」昔からコーヒーが好きだが、最近は日に2、3杯に抑えている。少しずつ大事に飲むので最後にはぬるくなってしまふ。

Seiji Kumagai

FILE. \*01



熱工学講座 / 本荘キャンパス

Honjo Campus

## 01. 秋田県立大学の良いところはどこですか？

何かを自主的にやってみようという活動的な学生には、非常に良い環境を提供していると思います。施設や設備も新しいですし、教員も多いので自主研究を提案する1、2年生の学生を支援する態勢が整っていますね。

## 02. 現在の研究は社会でどのように役立ちますか？

精力的に取り組んでいるのが初級炭の有効利用なのですが、廃棄物だった初級炭を炭化させることで、高レベルの浄化材として、各分野で有効な利用が可能です。

## 03. 研究の息抜きは？

基本的に研究していることが好きなので、長時間でも疲れないです。ただ、学生と雑談するのも楽しいですし、車が好きなので気に入っている音楽をかけながらドライブすると気が晴れますね。家庭では6歳と5歳の子供がいますから野球や水泳と一緒に遊んだりしますが、実は結構疲れるんですね。

## 04. 研究の楽しさ、やりがいは？

頭の中で理論を組み立ててばかりだと行き詰るかもしれないけど、実験を続けると何が起きるので楽しいですね。大体、予想外の結果から研究が大きく進むことが多くて、そこを見逃さずに成果に反映させていくことが、特に実験系の研究者にとっては大事なことだし、面白い点でもあります。

## 05. 大学の地域社会とのつながりは？

大学の役割の一つとして社会への貢献がありますが、特に県立大学は地域社会に貢献しながら新しい技術あるいは産業の芽を創ることに力を入れています。そして地域の皆さんが観て面白いと思えることもやっていますので、ぜひ来校していただきたいですね。

## 研究内容

### ●環境とエネルギー

現在、取り組んでいる研究は、大まかに言うと環境とエネルギーに関する研究ですが、特に今、精力的に取り組んでいるのが初級炭の有効利用です。米どころの秋田県では初級炭が大量に出ますが、大湯村のように土壌改良材とか家畜の床に敷くというように農業で利活用しているところは別として、ほとんどの地域では処分困っているんですね。そこで石油会社と共同で、初級炭を使って石油をきれいにする研究をしています。ただきれいにするのではなく、クリーンで高いエネルギー効率を得られるとして注目さ

れている燃料電池への活用を目指しています。燃料電池とは石油などから取り出した水素を空気中の酸素と反応させて発電させるシステムですが、石油の中に含まれている硫黄分を従来の規制より少なくしなければ燃料電池の耐久性が低下します。そこで着目したのは、初級炭の中に除去したい硫黄化合物を上手に吸着してくれる穴がたくさんあることでした。燃料電池の課題の一つがコストの削減で、炭素を作る材料は他にもいろいろありますが、今のところ上記の用途では初級炭が最も経済的で入手しやすく、さらには効果が期待できる材料といえます。

## 科学の話

## フランケンシュタイン!?

総合科学教育研究センター  
准教授 / 松村 聡子

「フランケンシュタイン」というと、いかつい顔の恐ろしい怪物のことだと思っておられる方も多いと思います。これは実は怪物ではなく(怪物そのものに名前がつけられていません)ヴィクター・フランケンシュタインという怪物を創り出した科学者の名前なのですが、何度も映画化されたり、さまざまに翻案されたりして広範に行き渡っているイメージに比べると、原作のほうはそれほど知られていないかもしれません。

『フランケンシュタイン』はイギリス人女性、メアリー・シェリーによって書かれた小説で、初版は1818年に出版されました。執筆を始めた当時、彼女はまだ十代でしたが、すでに二回の出産を経験していま

した。しかもそれはロマン派の詩人、シェリーの愛人の立場での出産でした。(シェリーの妻の自殺後、二人は結婚しています。)

生命の根源を解明したいという情熱に取りつかれたヴィクターは、観察や実験を重ね、ついに科学の力で新たな生命を創り出すことに成功します。しかし出来上がった創造物は、ぞっとするほど醜い怪物だったのです。そのあまりの醜悪さに、彼は生まれたばかりの創造物を見捨てて逃げ出してしまう…。

シェリーや、同じくロマン派の詩人のバイロンは、科学にも造詣が深く、彼らの話はメアリーの想像力を大いに刺激しました。また、この

怪物を「生み出す」物語には、彼女自身の出産にまつわる不安や恐怖も大きな影を落としています。怪物はやがて、創造主であるヴィクターに恐ろしい復讐を次々と仕掛けます。けれどもそうした怪物も、単なる悪の権化として描かれてはいません。科学の力の賜物である怪物は、人間らしい心を育み、復讐の合間にも、絶えず良心の呵責と深い孤独感に苦しむのです。

怪物は人間が持つ二面性を照らし出しているのです。

人間の未知なる可能性を求め、  
アクティブに挑戦する教員たちを紹介。

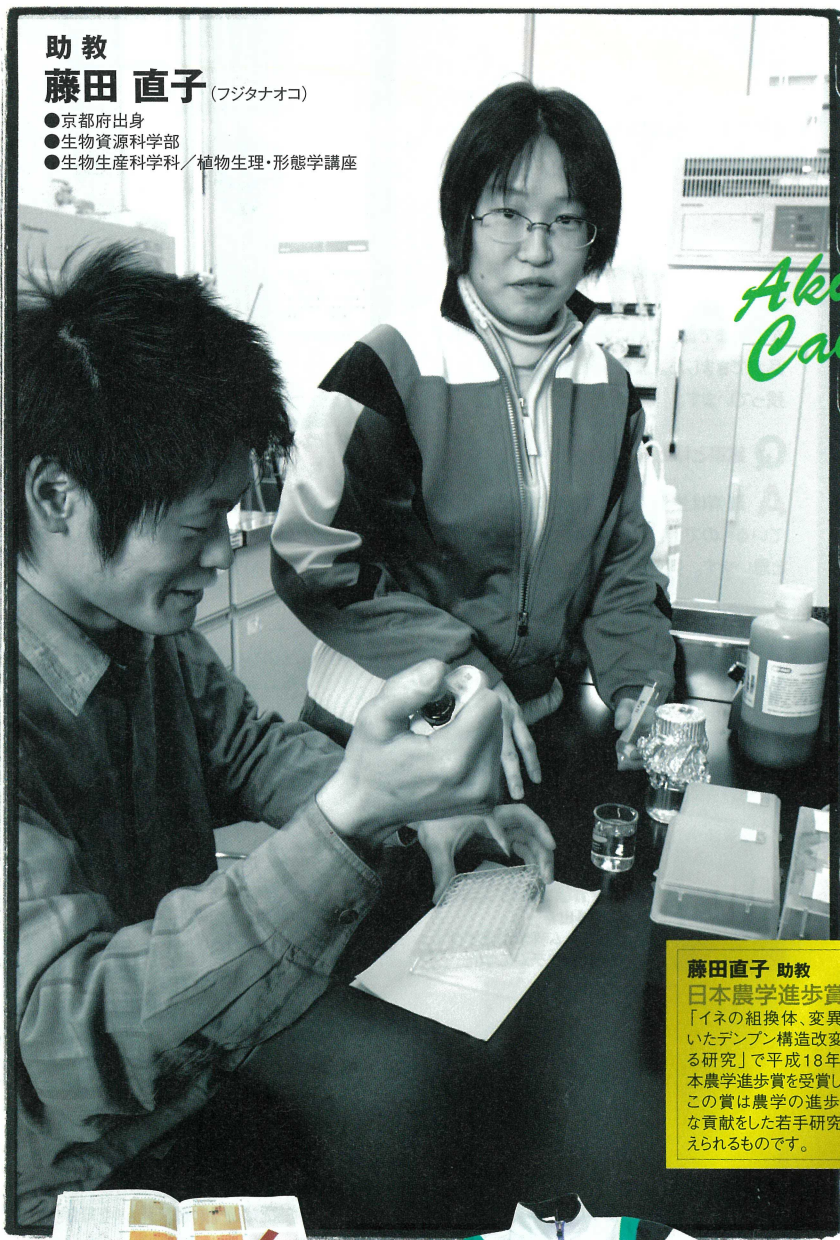


by T.Sawada

\* FILE. 02



植物生理・形態学講座 / 秋田キャンパス



Akita  
Campus

助教  
藤田 直子 (フジタナオコ)

- 京都府出身
- 生物資源科学部
- 生物生産科学科 / 植物生理・形態学講座

藤田直子 助教  
日本農学進歩賞受賞  
「イネの組換え体、変異体を用いたデンプン構造変化に関する研究」で平成18年度の日本農学進歩賞を受賞しました。この賞は農学の進歩に顕著な貢献をした若手研究者に与えられるものです。

研究に欠かせない愛用品

実験ノート

「命の次に大切な物」学生の頃からの習慣で実験のたびに日記のようにノートに記録する。これまで行ってきたすべての実験の資料にもなるし、行き詰ったときの参考書にもなる。汗と涙と感動が詰まっている!

Naoko  
Fujita  
研究内容

●デンプン研究

私達の毎日の食事の中で、デンプンは最も重要な炭水化物です。デンプンは植物だけが光合成によって生産できる、ブドウ糖が非常にたくさんつながった物質で、そのつながり方によって物性が変わることがわかっています。また、水を含んだ状態で糊状になる「糊化」という、他の物質にはない独特の性質を持ちます。一方、デンプンは植物がどのように合成しているのか、その詳細はまだ未解明な点が多く、デンプンの構造の詳細すら、まだよく解っていません。デンプンは、植物が持っているたくさんの「酵素」が作っ

マイジャージ

「一体化している!?!」  
特殊な薬品を使う実験では白衣を着るが、普段はこのジャージが手離せない。軽さといい丈夫さといい、そして何より県立大学カラーの配色が気に入っている。

01. デンプンの研究に取り組むきっかけは

大学では理学系の学科に在籍し、卒論ではヒトを研究していたのですが、大学院からは農学を専攻し、植物研究の分野に移ったことが大きな転機だったと思います。デンプンは植物だけが生産できる物質で、動物には作るできないという大きな特徴があります。当時、研究室に在籍していた先輩の研究テーマだったこともあって、その植物特有の性質に興味を覚えました。

02. 現在の研究は社会でどのように役立ちますか?

デンプンは食べるだけではなく、洗濯糊や壁紙、段ボールに使う接着剤など私たちの身近な場所で多用されていて、経験的な加工技術は非常に発達しています。一方で植物におけるデンプン合成のメカニズムについては、まだわからないことがたくさんあるのです。それらを科学的に解明することで今後、代替エネルギーとしても注目されるであろうデンプンをより効率的に利用できればと考えています。

03. 学生時代の思い出はありますか?

県立大と似た規模のこじんまりとした大学で、自由な雰囲気の中、サークル活動の合宿と称して大学に泊まりこんだり、先生や同級生と学生実験で夜遅くまで残ったりして楽しんでいました。何ごとにも好奇心が強かったので、今から思うと生意気な学生だったでしょうね。

04. 研究の楽しさ、やりがいとは?

自分が興味をもっている研究テーマを、学生と一緒に進めていく過程がとても楽しいですね。またデンプンには未解明な点が多い分、テーマは尽きないし、応用分野でもいろいろな可能性を秘めているので研究者としてとてもやりがいがあります。

05. 秋田県立大学の良さとは?

学生に対してかなり面倒見がいい大学だと思います。また各分野の最前線でやっていることをしっかり学ばせて卒業させるという方針も開学当初から一貫していますから、社会に出てから即応できるんだと思います。また単独の大学院<sup>※</sup>が併設されていて、最新の設備が整っていることは研究を学びたい人にとって大きな魅力です。

※博士前期及び後期課程

いますが、私はデンプン合成に関わる酵素の一つ一つの機能を解明することで、デンプン生合成メカニズムの完全解明を目指しています。現在、地球環境の悪化が大きな問題になっていますが、植物が地球温暖化の原因の一つである炭酸ガスを消費して合成するデンプンをバイオエタノールなどとして地下資源である石油等の代わりに使う試みが近年盛んに行われるようになりました。デンプンはこのように、食品のみならず、工業品としてもこれから利用がますます増加すると考えられます。これらの利用に適した新しい構造をもったデンプンの開発も行っていこうと考えています。

科学の語

ゲノムに刻み込まれた「植物の進化」の歴史

木材高度加工研究所  
准教授 / 高田 克彦

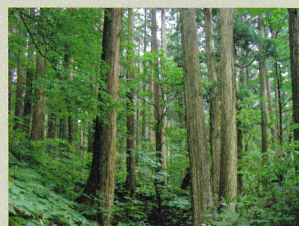
地球が誕生してから46億年、地球に初めて生物が現れてから40億年が経つと言われています。その間、生物は少なくとも4回の大きな氷河期を乗り越え、現在に至るまでその姿を変えながら生きながらえてきた、この過程が地球における「生物の進化」の歴史です。

スギ、クロマツ、ブナと言った木本植物<sup>\*</sup>は私たちの身の回りに普通に見かける生物です。しかし、これらの植物の祖先が陸上に初めて出現したのは今からわずか4.4億年前(シルル紀)のことなのです。そして3.6億年前の石炭紀には地球上の多くの陸地で森林が繁栄していたことが知られています。

さて、生物が生物たる所以はいったい何でしょう。それは全ての生物がそれぞれに特徴的な「ゲノム (genome)」という設計図を持ち、独特の形や機能を有していることです。そして「ゲノム」には何十億年も「生物の進化」の歴史が刻まれているのです。植物も同様に、その「ゲノム」上には4.4億年前から現在に至るまでの決して絶えることのない進化の歴史が刻み込まれています。

私たちの研究グループは植物の葉緑体ゲノム (chloroplast genome) に注目して、針葉樹の生物的特徴・進化に関する研究に取り組んでいます。

決して目で見ることができない「植物の進化」の歴史を解き明かす日を夢見ながら。



※ 茎及び根が肥大成長をして多量の木部を作る多年生植物の総称。草本植物に対する語。

# STUDENT STYLE

卒業生  
修了生  
インタビュー

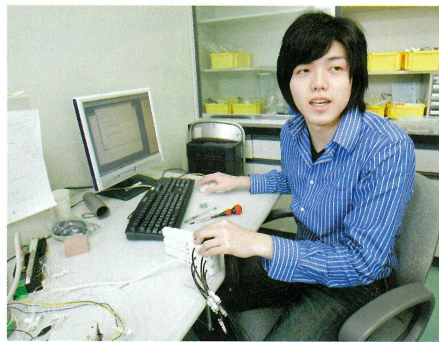
## Voice. 01

### 大学4年間でしか出来ないことをやるのが大事!



**小池 良典**

山形県出身  
●システム科学技術学部  
●機械知能システム学科



愛用グッズはコレ!!

ダーツで気晴らし!  
最近、はじめたダーツ。  
自分専用のマイダーツ  
がお気に入りです。

*Yoshinori Koike*

**Q** 大学生生活の思い出は?

**A** 大学の友達との旅行です。車の中やマンガ喫茶で寝泊りした貧乏旅行が多かったのですが初めて行く場所が多く新鮮でした。15人で淡路島へ行ったのも良い思い出です。

**Q** 印象に残っている研究は?

**A** 制作したロボットハンドを制御して上手くいかず、色々方法を試していたのですが、自分の思い通りに動くまで1ヶ月くらいかかりました。苦労した分報われた気がしました。

**Q** 県大のここが好き

**A** 企業出身の先生が多く、社会に出たときのノウハウを詳しく教えてもらえることが良かったです。あと、研究室や講義室、図書館など部屋が広く、研究・勉強環境が整っていることも好きなお気に入りです。

## Voice. 02

### 目標は人の生活をちょっとずつ良くすること。

**Q** 県大のここが好き

**A** テスト1週間前に先生の部屋に押しかけて質問しても、必ず答えてもらえるところです。おかげで単位を取得できた教科も数多くあり、本当に助かりました。

**Q** 卒業後の目標は?

**A** 就職先が電子部品を作る会社ですが、自分の就きたい職種で第一希望の企業です。そこで電子部品の制作に携わり、それを通じて人の生活をちょっとずつ良くできたらと考えています。

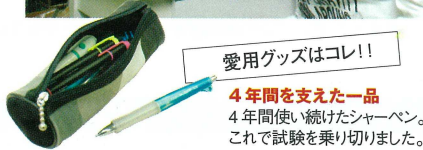
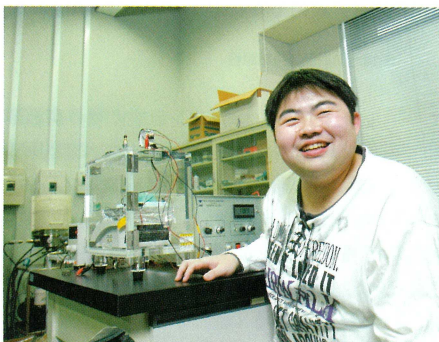
**Q** 講義を受けるときのポイント

**A** その講義がどの分野でどんな仕事に関わっているのか、また、それを自分の仕事にするならどうなのかを少しだけ考えてみると良いと思います。



**佐々木 悠歩**

秋田県出身  
●システム科学技術学部  
●電子情報システム学科



愛用グッズはコレ!!

4年間を支えた一品  
4年間使い続けたシャーペン。  
これで試験を乗り切りました。

*Yuya Sasaki*

## Voice. 03

### 卒業後の目標は、1級建築士の資格取得です。

**Q** 由利本荘市に住んで感じたこと

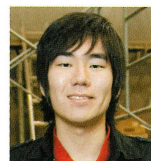
**A** 海や川や山など自然に囲まれていて景色がきれいで、夜は星もすごくきれいなことに感動しました。天気の良い日は音楽を聴きながら、田んぼ道を歩いて学校に行くのが好きでした。

**Q** 印象に残っている研究は?

**A** 集合住宅の設計をグループで行ったことが印象に残っています。グループのみんな朝まで話しこむことも多くあり、よい作品ができました。また、楽しい思い出として残っています。

**Q** 建築とはどんな存在?

**A** 建築は生活のどんなものにも結びついているもので、ずっと勉強していける学問だと思います。興味はつきません。



**原田 鉄**

京都府出身  
●システム科学技術学部  
●建築環境システム学科



愛用グッズはコレ!!

研究の友  
つい手がでてしまう100円  
せんべい。研究していると  
ポロポロ食べてしまいます。

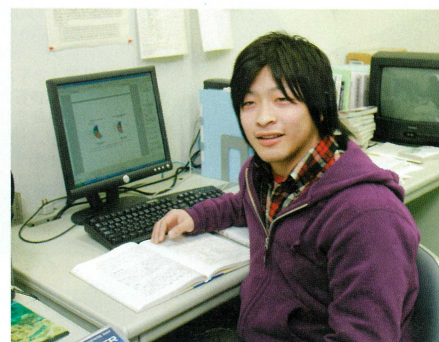
## Voice. 04

### 研究は自ら進んで考え、学んでいくもの。



**齋藤 達也**

福島県出身  
●システム科学技術学部  
●経営システム工学科



愛用グッズはコレ!!

壮大な景色が最高  
2~3ヶ月に一度のペースで  
何もすることがないときにみて  
います。飽きないですね。

**Q** 研究を通じて感じたことは?

**A** 今までの受動的な勉強とは異なり、研究は自ら進んで考え学んでいくもの。生半かな気持ちで研究はできないし、それなりの責任を持つ必要も出てきます。このことを念頭において今後も研究を続けていきたいです。

**Q** 大学生生活の思い出は?

**A** 初めて剣道サークルの活動を見たときは、楽しく剣道をしている姿に困惑。それでも剣道サークルに所属。良い意味で高校までの剣道とは違う剣道スタイルを経験できたのは、良い思い出です。

**Q** 先輩へのメッセージ

**A** 3年生は就職活動、進学活動、卒業研究など粘り強く頑張ってください。1・2年生はある程度のビジョンを持って勉強することがおすすめです。

*Tatsuya Saito*

## 本荘キャンパス

大切なことは、ここで学んだことを活かして、  
将来に向かって自ら進んで挑戦していくこと。

## Voice. 05

### 得意料理は野菜炒め。一人暮らしは節約生活!

**Q** 一人暮らし、節約生活の秘訣は?

**A** 一人暮らしは慣れるまで苦労しました。あと節約生活も大変でしたね。上手く乗り越えるには特売日や半額商品を狙ってスーパーへ行くことがポイントです。料理が好きなのも重要ですね。

**Q** 大学生生活の思い出は?

**A** 先生と実験の方法を決めたり、実験装置を組み立てたりしたことが印象に残っています。また大学に残って、徹夜でレポートを書いたり、実験をしたことも大学生生活の思い出です。

**Q** 将来、どのような人になりたい?

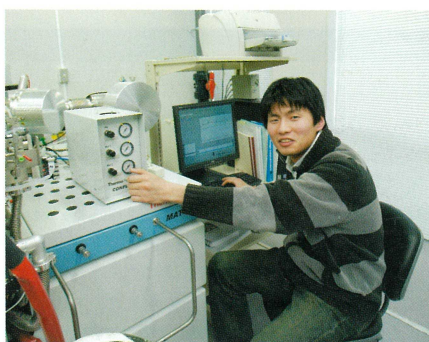
**A** 「不言実行」。あれこれ言わずに、やるべきことを実行できる人になりたいです。当面は無理ですね。



>> 大学院修了生

**山地 光行**

岩手県出身  
●システム科学技術研究科  
●経営システム工学専攻(前期)



愛用グッズはコレ!!

気分転換に一番  
空き時間ができること、  
サッカー好きが集まって  
フットサルをしていました。

*Mitsuyuki Saito*

*Honjo Campus*

**Voice. 06**

**大学時代にしかできないことを、楽しもう**

*Nukie Kaneta*

**Q 大学生生活の思い出は？**

**A** スーパーでのアルバイトを続けたこと。看護や医療など他分野の勉強をしている人達と話をすることで視野が広がり、よい経験になりました。

**Q 県大のここが好き**

**A** 人数が少ないのでみんな顔見知りです。アットホームな雰囲気があるところ。特に研究室のメンバーは仲が良く、学校以外でもよく遊びます。

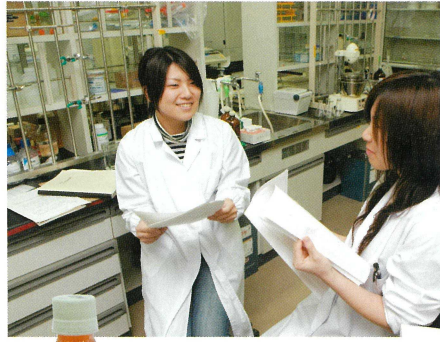
**Q 秋田でビックリしたことは？**

**A** ババヘラアイスを買っているのを初めて見たときは驚きました。お婆さんが道ばたでアイスを買っているなんて、他にはないですよ。



**兼田 幸枝**

青森県出身  
●生物資源科学部  
●応用生物科学科



愛用グッズはコレ!!

**愛飲中!!**  
グレープフルーツジュースを毎日飲んでます。大学の売店で買うことも多いです。

**Voice. 07**

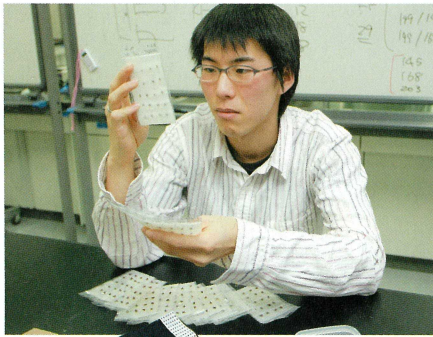
**一番成長できた4年間**

*Masaki Komatsuya*



**小松谷 正樹**

秋田県出身  
●生物資源科学部  
●生物生産科学科



愛用グッズはコレ!!

**思い出の詰まった半纏**  
大学に入ってから始めた半纏。長く使っているので古くなってしまいました。

**Q 大学生生活の思い出は？**

**A** とにかく勉強以外でも色々やりたいと思って松風祭（大学祭）の実行委員長、竿燈会の代表、学生会の活動などに挑戦したことです。自分が中心になってやることが面白かったし、それらの活動を通して様々な人と出会い、語り合えたことが思い出です。

**Q 県大で困ったことは？**

**A** 風が強いこと。竿燈の練習時には悩まされました。

**Q 卒業後に目指すものは？**

**A** 2年間の研修後、実家のりんご農家を継ぐつもりです。小さい頃は農家が嫌でしたが、進路を考えるようになった頃から、その良さにも目が向くようになりました。農業は簡単には出来るものではないですが、農家は必要だと思います。これも今のうちに出来る親孝行かもしれません。

**Voice. 10**

**短大での何気ない日々の生活が大切な思い出**

*Sinobu Shinohara*

**Q この短大を選んだ理由は？**

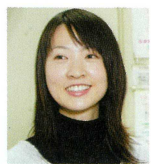
**A** 社会人の経験を経てからの学生へ戻るということもあり、4年間学べるか不安な面もあったので、この短大を選びました。年齢的なことも考え、今しかないと思いチャレンジしました。

**Q 卒業後の目標は？**

**A** 卒業後は地元（静岡）の大学へ編入します。将来は植物に囲まれて生活していきたいと思っています。目標は植物園で働くことです。

**Q 印象に残っている研究は？**

**A** イチゴ萎黄病（植物の茎や葉が黄緑色・黄色になる病気）抵抗性品種の特性について調査・研究が印象に残っています。植物を相手にする調査は大変な面もありましたが、常に変化を続ける様子を見ていくことは楽しかったです。



**篠原 忍**

静岡県出身  
●短期大学部  
●生物生産学科



愛用グッズはコレ!!

**香りで気分転換**  
アロマテラピーのセット。香りが好きなのでリラックスしたいときに使っています。

**Voice. 11**

**一番の思い出は寮生活**

*Ogata Campus*

**大潟キャンパス**

**Q 印象に残っている研究は？**

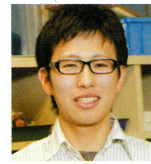
**A** 寒い日が続いたため鼻水を垂らしながら観測を行った春。暑さでうなだれながらも成長する稲を見に行った夏。稲が刈り取られ何も無い田んぼで観測した秋。そんな卒業研究の定期観測の日々を忘れません。

**Q 大学生生活の思い出は？**

**A** 寮生活が一番の思い出です。多くの友達に囲まれて笑いの絶えない学生生活になりました。この短大での友達は一生の友達になると思います。

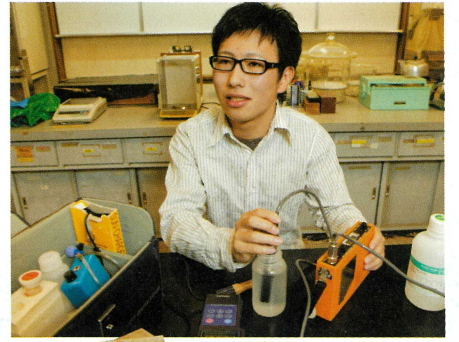
**Q 後輩へのメッセージ**

**A** 短期大学部が今年度で閉学するので少し寂しいですが、この短大の校舎や学生寮が県大の大学生が多くのことを学び、楽しい大学生活を送れる場所になればいいと思っています。



**工藤 学**

青森県出身  
●短期大学部  
●農業工学科



愛用グッズはコレ!!

**時間があつたら一局**  
時間があるときに友達と将棋を指したことも良い思い出です。

**Voice. 08**

**自然に囲まれ、研究できる幸せ**

*Akita Campus*

**秋田キャンパス**

*Kyoko Sano*

**Q この大学を選んだ理由は？**

**A** アウトドア派の家族の影響もあり、小さな頃から葉っぱを取ってきて図鑑で調べたりするのが好きでした。「雄大な自然に囲まれた環境の中で森林の研究をしたい」と思い、この大学を選びました。

**Q 卒業後の目標は？**

**A** 卒業後も大学院で生態系保全に関する研究を続けます。将来はその研究を活かして自然に従事した仕事に就きたいと思っています。

**Q 後輩へのメッセージ**

**A** この大学は興味を広げられる場所だと思います。何ごとともトライをしてみて、自分が本当にやりたいことを見つけ、実行に移して下さい。そうすれば新しい道が開かれます。



**佐野 恭子**

静岡県出身  
●生物資源科学部  
●生物環境科学科



愛用グッズはコレ!!

**調査には欠かせません**  
腰カゴは調査に行くときの愛用品です。

**Voice. 09**

**人生の勉強は続きます!!**



>> 大学院修了生

**出原 慧**

大阪府出身  
●生物資源科学研究科  
●生物機能科学専攻（前期）



愛用グッズはコレ!!

**くるみで集中!**  
ころころ回っていると頭の回転が速くなるような気がします。

**Q この大学を選んだ理由は？**

**A** 授業でイネの塩害を扱ったビデオを見たのがきっかけで、イネの研究に興味を持ちました。秋田県は日本有数の米の生産地であり、イネについて勉強するにはもってこいの場所だと考えました。

**Q 印象に残っている実験は？**

**A** 実験でRNA<sup>\*</sup>を初めてキレイに抽出できた時。植物に試薬を入れてRNAを抽出する作業だったのですが、簡単にできる人もいるのに自分はなかなかできず、先生にも不思議がられていました。成功した時は思わず叫びながら廊下に飛び出しちゃいました。

**Q 後輩へのメッセージ**

**A** 色々な人との出会いを大切にしたい。その出会いから新しい発見や考え方が生まれて、様々なことを乗り越えていけると思います。それ以外では、勉強をもっと頑張ればよかったと思っています。勉強に終わりはありません、人生勉強です。

\* RNA：リボ核酸。DNAの遺伝情報をタンパク質に変える役割を持つ。

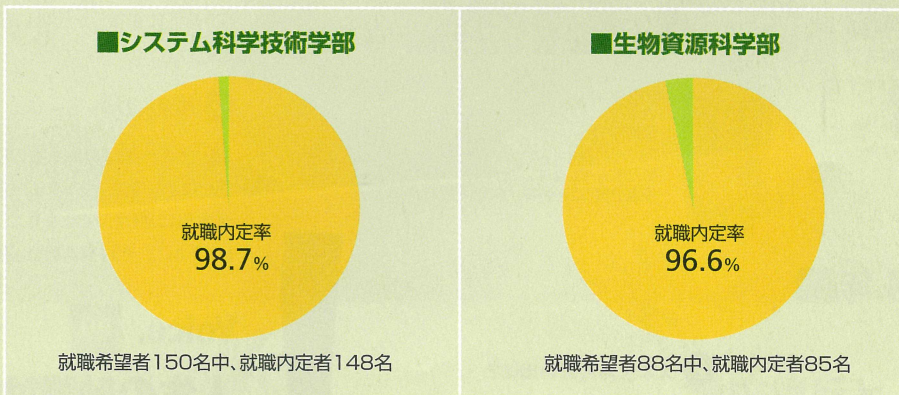
## 進路情報

平成19年3月卒業予定者（第5期生）進路決定状況

卒業予定者323名のうち就職希望者238名、大学院進学希望者80名となっています。

### 1. 就職内定状況（平成19年2月15日現在）

就職希望者238名のうち、就職内定者は233名で就職内定率は97.9%となっています。



### 2. 大学院合格状況 >> 進学先

秋田県立大学大学院、東北大学大学院、信州大学大学院、静岡大学大学院、名古屋工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、筑波大学大学院、茨城大学大学院、横浜市立大学大学院、千葉大学大学院、東京農工大学大学院、岐阜大学大学院、大阪大学大学院 ほか

## 生涯学生制度について

### 生涯学生制度について

生涯学生制度は、卒業生のサポートを目的とした制度です。生涯学生として登録した卒業生は、本学教員による勉強指導・進路助言を受けることができます。その他にも卒業生が無料で授業を聴講できる機会を設けるなど、卒業生の生涯学習のニーズにも応えます。

### 生涯学生の対象者

次のいずれかに該当する者で、本制度の趣旨に賛同し、生涯学生として登録を希望する者。

1. 本学学部卒業生
2. 本学大学院研究科修了生（単位取得後退学者含む。）
3. 本学短期大学部卒業生
4. 秋田県立農業短期大学卒業生

### 制度の内容

生涯学生に対しては、次のサービスを提供する。

1. 平日における本学図書館の利用（当面の間、秋田キャンパス図書館のみ実施）
2. 本学学部又は研究科開催講義における希望講義の受講
3. 本学教員による勉強指導・進路助言の提供
4. 本学主催公開講座及び公開講演会の開催案内
5. 本学広報誌の提供

Akita Prefectural University  
 公立大学法人 **秋田県立大学**

<http://www.akita-pu.ac.jp/>  
 E-Mail [koho\\_akita@akita-pu.ac.jp](mailto:koho_akita@akita-pu.ac.jp)

**[秋田キャンパス]** ●本部・生物資源科学部 ●大学院/生物資源科学研究科  
 〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438 TEL.018-872-1500 FAX.018-872-1670

**[本荘キャンパス]** ●システム科学技術学部 ●大学院/システム科学技術研究科  
 〒015-0055 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 TEL.0184-27-2000 FAX.0184-27-2180

**[大湯キャンパス]** ●生物資源科学部（アグリビジネス学科3・4年次） ●短期大学部  
 〒010-0444 南秋田郡大湯村字南2-2 TEL.0185-45-2026 FAX.0185-45-2377

**[木材高度加工研究所]**  
 〒016-0876 能代市字海詠坂11-1 TEL.0185-52-6900 FAX.0185-52-6924